

DXトップフォーラム・
岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進本部員会議議事要旨

1 日時

令和4年7月21日（木） 13:30 ~ 15:00

2 場所

県庁4階 特別会議室

3 出席者

別紙のとおり

4 議事概要

【1】 講演「自治体DX、こうやって進めよう」

一般社団法人コード・フォー・ジャパン 代表理事 関 治之氏

資料1に基づき講演。その後、講演内容について意見交換。

【デジタル推進局長】

- ・ 庁内においても、デジタル人材の育成・確保が非常に重要となる。優良な取り組みをしている他の自治体の事例があれば、教えてほしい。

【関氏】

- ・ デジタル人材の育成に重要なのは、実際にやってみるということ。座学だけをして、実践する場を提供しない研修をしている自治体は多いと思うが、学んだことは、アウトプットできないと、どんどん忘れ、身につかない。
- ・ 例えば、私がフェローをしている香川県では、県内の市町村を集めて、横串でラボのようなものを作り、手挙げ式で有志を募ったうえで、様々な事例を学び、ツールを活用しながら、業務改善をしている。
- ・ コード・フォー・ジャパンでも、ワークショップを提供させていただいているが、いわゆるラーニングコミュニティと言われる活動は、特に重要だと思う。
- ・ 同様の活動は、先ほどご紹介した群馬県や東京都でも行われている。

【2】 デジタル化・DXを切り口とした各分野のプロジェクト

デジタル戦略推進課長より、冊子「デジタル化・DXを切り口とした各分野のプロジェクト」について説明。

【3】 事例発表

資料2に基づき、若手職員より説明。その後、意見交換。

- ① 「クリーンアップぎふ～海まで届け清流！～」
～「見える化」で、清掃活動を身近なものに～

【環境生活部廃棄物対策課主査】

- ② 県民の命を守る！
～デジタル技術を駆使した情報収集・避難対策の強化～

【危機管理部防災課主任】

- ③ DXで業務プロセスを最適化！
～持続可能な行政運営と県民サービスの向上～

【デジタル推進局デジタル戦略推進課主査】

- ④ 遊休農地パトロール “ちゃっちゃ” と済ませて
「農業を活用した地域づくり」へ

【下呂市農林部農務課主任主査】

【大森副知事】

- ・ 「クリーンアップぎふ～海まで届け清流！～」について、清掃活動やごみの収集に対してどのような効果があったか、検証していたら教えてほしい。
- ・ 「DXで業務プロセスを最適化！」について、AIチャットボットは、質問と回答がかみ合わないという経験をしたことがある。また、行政手続きのオンライン化では、対面手続きをオンライン化することで、やりやすくなった、という声も時々出てくる。

相談者や申請者の満足度・効果について、把握しているものがあれば教えてほしい。

【環境生活部廃棄物対策課主査】

- ・ 参加人数や拾われたごみの量をカウントし始めたのは令和4年4月であり、Webページで清掃活動の見える化を始めたのが翌5月からである。今後、Webページや秋以降に公開予定の散乱ごみのヒートマップを活用しながら、効果を検証していきたいと考えている。
- ・ 参加人数については、5月時点では延べ400人程度であったが、本日時点で2,600人程度まで延びており、県民の皆様には、清掃活動に一定の関心を持っていただいていると感じている。

【デジタル推進局デジタル戦略推進課主査】

- ・ AIチャットボットについて、利用者に回答を送信した後、「役に立ったか」を確認する仕組みとしているが、「役に立たなかった」との回答は36%程度ある。QAデータの更新や回答の棚卸しを進め、改善していきたいと考えている。

- ・ 行政手続きのオンライン化の満足度については、取組みを始めたばかりで、まだデータはないが、今後、オンラインの利用率などの指標を調査しながら進めていきたいと考えている。

【4】 総括コメント

【古田知事】

- ・ 本日の会議は、県と市町村が同じ方向を向いて、オール岐阜でDXに取り組んでいくための一つの試みとして開催した。
- ・ DXも、総論から各論、実践というところに来ている。関氏の講演にもあったが、我々の苦手な横の連携や柔軟性といったことが、DXを活用していくなかで試されていくし、重要になってくるということを感じた。
- ・ 113のプロジェクトも立ち上がっているが、これだけに留まらず、積極的に取り組んでいただきたい。
- ・ デジタルはあくまでもツールであり、使いこなさなければならない。身近なところで具体的な成果や効果が感じられるようなDXを推進していきたい。
- ・ 日本全体として、コロナ禍でデジタルの活用を試みたが、結局は手作業がメインになり、大混乱の中で無駄な労力がかかったという苦い経験をしている。使える、役に立つ、効果のあるDXをしっかりと追及していく必要がある。先ほど副知事からも質問があったが、具体的な効果等を一つひとつ確かめながら、前に進んでいっていただきたい。
- ・ また、国のデジタル田園都市国家構想推進交付金について、本日事例発表した海洋ごみ対策や避難対策でも活用しているが、本県は交付金採択額が全国で4番目であり、効率よく国の交付金を活用しているところ。本日、県の支援策一覧もご紹介したが、こうしたツールも積極的に活用していただきたい。
- ・ 今日是一个のスタートだが、引き続き、県と市町村が連携しながら、DXを推進できるよう、よろしく願いしたい。